

# 印材のご説明

## 薩摩本柘

木製の印材としては古くから使われており、一般的な印鑑として広く愛用されています。

柘は産地により種類が多数ありますが、薩摩本柘は柘の中でも質がよく高級品とされ、長い間使用してもあまり変化がないことが特徴です。

国内産にこだわり、印材になるまでの工程も国内で加工した綺麗な印材を使用しております。

薩摩本柘は天然植物系の印材としては繊維が緻密で、木目のが綿密で柘の木は硬度も粘りもあり篆刻（彫刻）に適しています。

薩摩本柘は木材なので直射日光や乾燥、湿気などの気温の変化に弱いので、捺印後のケアや保管に注意していただくこと、印鑑を長持ちさせることができます。

## 黒水牛

水牛の角を加工した印鑑材料です。

はんこ以外にもボタン、装飾品などにも仕様されており、重厚感があり、加工に適した材質です。

牛の角は皮膚の一部であり、主成分はたんぱく質で形成されています。

黒水牛は、黒く美しい光と、重厚感があり、耐久性にも優れています。

黒水牛は、水牛の角を加工したものです。

お作りさせていただく印材は芯の通った中心の部分の、芯持（しんもち）という部分で、さらに良質な角の先端の部分を使用します。

黒水牛の印材は、朱肉の馴染がよく、きれいな印影を捺すことができます。

綺麗に押したい実印・銀行印向けに人気の印材です。

丈夫な材質ですので、捺印後のケアや保管に注意していただくことで、「一生もの」の印鑑としてお使いいただけます。

## オランダ水牛

オランダ水牛は牛の角を加工した印鑑材料です。

当店では通常のオランダ水牛の中でも特に数少なく透明度が高く美しい無垢な材質で「純白（芯持ち）」といわれる高級品を扱っており、男性女性問わず、高い支持を得た人気商品となっています。

牛の角は皮膚の一部であり、主成分はたんぱく質で形成されています。

牛角の印鑑の品質を左右するのは、どこの部分を使うかによります。芯の部分が最も高級とされ、組織形成も緻密なものになっています。そのため、ひび割れにも強い印鑑にすることができます。

お作りさせていただく印材は芯の通った中心の部分の、芯持（しんもち）という部分で、さらに良質な角の先端の部分を使用します。

丈夫な材質ですので、捺印後のケアや保管に注意していただくことで、「一生もの」の印鑑としてお使いいただけます。